

職員による自己評価

A環境・体制面

年度半ばに職員が退職したが、活動には大きく変化は無かった。

B児童への支援

コロナ禍でも人数が落ち着き始めた事で様々な対策を講じて面談が行える様になり、ご家庭のニーズを直接伺う事が出来た。

C関係機関との連携

以前と同様にコロナ禍で他事業所との交流は行っていない。その中でも学校や他の事業所等との連携をあまり図れなくなってきておりご家庭との情報が主になっている状態。

その為、地域自立支援協議会や児童部会なども開催がなく、参加が出来ていない。

D保護者への説明責任・信頼関係

引き続きご家族からのご要望も特に無い事から、保護者会等の開催は行っていない。

送迎の際にお話を伺い対応している状態を継続しており、モニタリングや電話対応を行う事で様々なご要望などを伺い各ご家庭ごとに適切に対応している。

E非常対応

緊急時のマニュアルに沿って、定期的に避難訓練を開催し、適切取り組みを行っている。

保護者による評価

A環境・体制面

活動のスペースに対してバリアフリー化などのどちらとも言えないといったご指摘が前年度と同様に数名の方からご記載がある。

B児童への支援

支援計画書をもとに保護者のニーズに合わせた活動を行っており、現在も週単位やメンバーに合わせて内容を変更している事で固定化はされていない。他のデイ等との交流といった点について行っていないとのご意見も上がっている。

C事業所からの情報発信

保護者会の開催などが無いとお声を頂いているが、望まれていないご家庭も多い為、開催の予定はない。送迎時や連絡帳以外ではブログでの発信のみとなっており、その他、個別での対応はお電話にて相談に応じている。

D非常対応

非常事態の際の緊急避難場所や緊急連絡網などが不明と言ったご意見が寄せられている。

事業所内での分析

【共通点】

- 環境・体制設備や適切な支援の提供の点に関してはおおよそが「はい」といった返事が来ており、ご本人や保護者様のニーズで行っている点。
- 保護者会などでの保護者同士の連携は必要ないといった点。

【相違点】

- 避難訓練などが定期的に行われているかについて「分からない」や「いいえ」といった意見が多い点
- コロナ感染状況などの共有についての点。

